

アフガニスタン：人権ベースの行動計画の必要性

2024/11/01

国連人権高等弁務官事務所

国連総会に提出した[レポート](#)の中で、アフガニスタンの人権状況に関する国連特別報告者であるリチャード・ベネットは、世代を跨いで影響を及ぼす「ジェンダー・アパルトヘイト」を含む、悪化している人権状況に関して詳述し、「国際社会の強力で結束した対応がないことが、タリバンをつけあがらせている」と述べた。また、「ジェンダー・アパルトヘイト」に関する[女性差別撤廃委員会](#)と[人権高等弁務官](#)の発表を歓迎し、各国に対しこの用語を成文化するよう繰り返し求めた。さらに、市民空間の縮小、マイノリティの状況、ジャーナリスト、前政権および治安当局者、裁判官、弁護士、体罰や死刑執行、性的暴力に関して深い懸念を表明し、「正義、平等、法の支配は体系的に無視されている」と述べた。タリバンに対し差別的で抑圧的な政策を撤回し、権利を回復させるよう求める一方、国際社会に対し、平和的でインクルーシブ、権利が尊重された社会づくりを目的とした戦略の中に、アフガニスタンの人びとを支援するための国家による実践的な行動を組み込んだ「あらゆる手段によるアプローチ」をとるよう求めた。

